



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年11月9日

上場会社名 リケンテクノス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4220 URL <http://www.rikentechnos.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清水 浩
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 前田 健 TEL 03-3663-7991
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月9日 配当支払開始予定日 平成24年12月3日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	35,296	△7.6	1,071	△3.2	1,060	△5.8	871	△24.5
24年3月期第2四半期	38,186	3.8	1,106	△38.6	1,125	△36.8	1,154	39.1

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 888百万円 (△15.7%) 24年3月期第2四半期 1,054百万円 (145.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	14.41	—
24年3月期第2四半期	18.90	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	66,551	35,855	48.7	536.39
24年3月期	62,015	35,264	51.7	530.85

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 32,438百万円 24年3月期 32,077百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	4.00	—	5.00	9.00
25年3月期	—	4.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	5.00	9.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	75,500	0.4	2,000	△15.0	2,000	△19.9	1,400	△28.7	23.15

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 有
- ④ 修正再表示： 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期2Q	66,113,819株	24年3月期	66,113,819株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	5,638,162株	24年3月期	5,686,903株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期2Q	60,452,414株	24年3月期2Q	61,069,875株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) 重要な後発事象	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要により一部で回復は認められたものの、欧米諸国の景気回復の遅れや長期化する円高により輸出は伸びを欠き、また内需の柱である個人消費は前年のエコポイント特需の反落などにより低調に推移するなど、総じて停滞色を強めました。加えて、これまで順調な成長を続けてきた中国での反日活動の勃発や、インド経済の減速など、今後に不安を残す展開となりました。産業別には昨年3月の大震災、10月のタイの大洪水と2度にわたり生産が後退した自動車生産が回復軌道に乗った以外は、個人消費の伸び悩みもあり、家電に代表されるように概して低調に終わりました。当社グループの業績に大きな影響を与える原油価格は、不安定な中東情勢を背景に一時的に上昇する局面もありましたが、後半は沈静化に向かい、原材料価格の高止まりを招くには至りませんでした。

このような環境の中、当社グループは世界的な自動車生産の回復に伴う需要を国内外で確実に捉え、自動車関連の売上は増加しましたが、建材、電材、家電関連の売上は低迷しました。また洪水被害を受けたタイ国のコンパウンド製造現地法人の生産復旧は順調に完了しましたが、本格的な売上回復には至りませんでした。なお、同現地法人が復旧に要した修理費や減失設備の新規取得費用等の諸費用は概ね保険金でまかないました。

以上の結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上は35,296百万円(前年同四半期連結累計期間比(以下「前年同期比」)7.6%減)、営業利益は1,071百万円(前年同期比3.2%減)、経常利益は1,060百万円(前年同期比5.8%減)、四半期純利益はタイ現地法人洪水被害の保険金や遊休不動産の売却益等により323百万円の特別利益があり、871百万円(前年同期比24.5%減)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

[コンパウンド]

国内のコンパウンド事業のうち、塩ビコンパウンドは震災復興需要が本格化しない中、建材、電材用途の売上が伸びず、また家電用途も個人消費の低迷をうけ低調な売上となりました。エラストマーは自動車生産の回復に伴い売上は順調に回復しました。

海外では、昨年実施した製造ラインの増設効果を充分発揮した中国、インドネシア現地法人および、自動車、住宅需要の回復を確実に捉えた米国2現地法人が増収、増益を果たし、タイ現地法人の売上回復の遅れによる収益の落込みを最小限に止めることができました。

その結果、売上高は24,102百万円(前年同期比8.1%減)、セグメント利益は1,126百万円(前年同期比9.8%増)となりました。

[フィルム]

国内の主力事業分野の建装材市場はやや持ち直しましたが、輸出環境は長期化する円高と欧州市場の低迷が大きく影響し、売上、収益とも大変厳しい状況が続きました。光学用途はTV市場の低迷に加え、製品サイクルへの対応の遅れにより売上は低調でした。

その結果、売上高は7,433百万円(前年同期比0.6%減)、セグメント損失は3百万円(前年同期は157百万円の損失)となりました。

[食品包材]

国内の食品包材事業は、震災特需があった昨年から一転し、個人消費の低迷をうけ需要が減少する中、市場競争が激化し、加えて原材料価格上昇分の製品価格転嫁が遅れるという大変厳しい状況が続きました。中国事業は採算を重視した販売戦略が奏功し、収益は改善しました。

その結果、売上高は2,167百万円(前年同期比19.4%減)、セグメント損失は3百万円(前年同期は178百万円の利益)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は66,551百万円(前連結会計年度末比4,535百万円増加)となりました。これは主に受取手形等が減少する一方、現金預金が増加し流動資産が3,875百万円増加したこと等によります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は30,695百万円(前連結会計年度末比3,944百万円増加)となりました。これは主に未払法人税等や未払金等が減少する一方、短期借入金や長期借入金が増加したこと等によります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は35,855百万円(前連結会計年度末比591百万円増加)となりました。これは主に利益剰余金が増加したこと等によります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要により一部で回復は認められたものの、欧米諸国の景気回復の遅れや円高の長期化により輸出は伸びを欠き、個人消費は前年のエコポイント特需の反落などにより総じて停滞色を強めました。加えて、中国での反日活動の勃発やインド経済の減速など今後に不安を残す展開となりました。

このような経済環境を勘案し、平成24年5月11日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想を以下のとおり修正しております。

平成25年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A) (平 成 2 4 年 5 月 1 1 日 公 表)	78,000	2,600	2,700	1,750	28.96
今 回 修 正 予 想 (B)	75,500	2,000	2,000	1,400	23.15
増 減 額 (B - A)	△2,500	△600	△700	△350	—
増 減 率 (%)	△3.2	△23.1	△25.9	△20.0	—
(ご 参 考) 前 期 実 績 (平 成 2 4 年 3 月 期)	75,222	2,353	2,496	1,964	32.32

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ17,444千円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,116,760	12,185,680
受取手形及び売掛金	20,234,162	19,941,158
商品及び製品	3,913,424	4,515,466
仕掛品	740,651	666,026
原材料及び貯蔵品	3,344,497	3,594,458
繰延税金資産	252,646	254,259
その他	1,353,590	669,608
貸倒引当金	△207,495	△203,404
流動資産合計	37,748,237	41,623,254
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,012,851	5,910,019
機械装置及び運搬具（純額）	5,208,350	6,165,153
土地	5,773,357	5,941,483
リース資産（純額）	266,116	242,707
建設仮勘定	490,665	510,932
その他（純額）	305,711	333,811
有形固定資産合計	18,057,053	19,104,108
無形固定資産		
のれん	373,998	325,668
リース資産	74,242	55,303
その他	694,922	825,099
無形固定資産合計	1,143,164	1,206,071
投資その他の資産		
投資有価証券	3,451,341	3,055,008
長期貸付金	42,615	31,362
繰延税金資産	176,722	226,858
前払年金費用	650,094	572,636
その他	758,188	741,918
貸倒引当金	△11,622	△9,997
投資その他の資産合計	5,067,340	4,617,788
固定資産合計	24,267,558	24,927,968
資産合計	62,015,796	66,551,223

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,531,149	15,707,983
短期借入金	3,579,270	5,405,766
1年内返済予定の長期借入金	90,885	408,023
リース債務	122,561	114,427
未払法人税等	355,444	150,397
賞与引当金	416,238	444,551
役員賞与引当金	32,000	13,500
その他	2,483,873	2,088,938
流動負債合計	22,611,423	24,333,589
固定負債		
長期借入金	586,738	2,877,342
リース債務	225,833	190,918
繰延税金負債	881,725	824,685
退職給付引当金	2,199,864	2,249,591
資産除去債務	124,949	122,255
その他	120,918	97,388
固定負債合計	4,140,029	6,362,181
負債合計	26,751,453	30,695,770
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,514,018	8,514,018
資本剰余金	6,535,131	6,532,676
利益剰余金	19,560,705	20,121,760
自己株式	△1,831,178	△1,814,453
株主資本合計	32,778,677	33,354,002
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	902,593	609,365
為替換算調整勘定	△1,603,777	△1,524,840
その他の包括利益累計額合計	△701,184	△915,474
少数株主持分	3,186,849	3,416,925
純資産合計	35,264,342	35,855,452
負債純資産合計	62,015,796	66,551,223

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	38,186,809	35,296,727
売上原価	33,389,684	30,493,667
売上総利益	4,797,125	4,803,059
販売費及び一般管理費	3,690,666	3,731,584
営業利益	1,106,458	1,071,474
営業外収益		
受取利息	12,706	13,579
受取配当金	59,279	59,162
その他	54,294	48,271
営業外収益合計	126,280	121,012
営業外費用		
支払利息	23,600	26,720
為替差損	70,688	91,039
その他	12,551	14,592
営業外費用合計	106,840	132,352
経常利益	1,125,899	1,060,134
特別利益		
固定資産売却益	977,749	122,739
投資有価証券売却益	1,458	—
受取保険金	—	201,216
特別利益合計	979,208	323,955
特別損失		
固定資産売却損	9,437	2,415
固定資産除却損	26,294	13,735
減損損失	—	4,854
投資有価証券売却損	7	—
投資有価証券評価損	7,771	22,451
災害による損失	—	94,648
その他	—	762
特別損失合計	43,510	138,867
税金等調整前四半期純利益	2,061,597	1,245,222
法人税等	698,318	192,206
少数株主損益調整前四半期純利益	1,363,278	1,053,015
少数株主利益	209,140	181,968
四半期純利益	1,154,138	871,047

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,363,278	1,053,015
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△204,289	△293,227
為替換算調整勘定	△104,916	128,934
その他の包括利益合計	△309,205	△164,292
四半期包括利益	1,054,072	888,722
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	907,506	656,756
少数株主に係る四半期包括利益	146,566	231,966

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) 重要な後発事象

(重要な株式の取得)

当社は、三井化学ファブプロ株式会社の全株式取得につき、三井化学株式会社と合意し、平成24年10月1日に株式取得を完了しました。

1. 目的

三井化学ファブプロ株式会社を当社グループの傘下に加え、生産の合理化、コスト削減を進め、競争力を強めることで、食品包材事業の持続的発展を図ります。

2. 株式取得の相手会社の名称

三井化学株式会社

3. 買収する会社の名称、事業の内容及び規模

(1) 名称：三井化学ファブプロ株式会社

(2) 主な事業の内容：合成樹脂フィルムの製造、加工及び販売等

(3) 最新事業年度における規模

平成24年3月期

売上高 6,875,593千円

総資産 4,016,509千円

4. 株式取得の時期

平成24年10月1日

5. 取得する株式の数、取得価額及び取得後の持分比率

(1) 取得する株式の数：200,000株

(2) 取得価額：3,630,000千円

(3) 取得後の持分比率：100%

6. 支払資金の調達方法

本件のための資金は、手元資金及び金融機関からの借入によりまかなっております。